

①例文データ(第1・2・3章)【Excel】

本冊掲載の見出し語・例文を収録しています。小テスト作成などにご使用ください。

番号	見出し語	作者	作品	例文
1	具体	—	—	理念を具体化するべきだ。このままでは机上の空論にすぎない。
2	抽象	—	—	あなたの意見は抽象的で意味がよくわからないので、具体的な例を挙げて説明してください。
3	普遍	加藤周一	文学の概念	科学は、法則の普遍性について語るができるのである。
4	特殊	清岡卓行	手の変幻	彼女(ミロのヴィーナス)はその両腕を、自分の美しさのために、無意識的に隠してきた…このことは、僕に、特殊から普遍への巧まざる跳躍であるようにも思われる…
5	絶対	—	—	彼女はクラスメイトから絶対的な信頼を得ている。
5	絶対	—	—	人々は神を絶対化していた。
6	相対	—	—	人間はアリよりも「大きい」が、ゾウよりも「小さい」。「大きい」や「小さい」は相対的なものである。
6	相対	—	—	異文化を知ること、自文化を相対化することができる。
7	主観	—	—	それは君の主観的な考えにすぎない。
7	主観	—	—	近代の人間は、主体的な生を求めた。
8	客観	—	—	できるだけ主観を排し、客観的な意見を述べてほしい。
9	理性	川田順造	コトバ・言葉・ことば	声には、理性を超えて、人間の生理の最も奥深い層にまで、じかに届くような力がある。
10	感性	中村真一郎	文章読本	つまり、考えるというのは理性の仕事であり、恋するというのは感情の仕事で、これは別のことなのです。
11	概念	保坂和志	世界を肯定する哲学	〈世界〉という概念が生まれるためには、抽象思考が可能になっていなければならない。
12	分節	渡辺保	型を超える自由	類型化が行われるのは、混沌としたものを分節化し、表現するための手段であって、そのために類型化と同時に差異化も行う。
12	分節	若林幹夫	地図の想像力	ある社会に属する人々にとっての「世界」の姿は、その社会の言語が世界をどのように分節化しているかということに強く規定されている。
13	記号	鷲田清一	ちぐはぐな身体	貴族階級の衣服はいわば権威と威信の記号であって、細部にいたるまで厳密な規定があった。
14	コンテキスト	—	—	言葉の意味は、それが使われているコンテキストの中で理解していかなければならない。
15	ロゴス	加藤節	政治学を問いなおす	人間は両義的な動物であって、合理性を持つ反面、ロゴスの体系としての言葉に背を向け生きようとする。
16	国語	松浦寿輝	差異性としての外国語	国語とは、一方ではわれわれを保護する母性的な環境として、また他方でわれわれを束縛する規範的な制度として、二重の絆で個人と社会とを結びつけている文化的なシステムである。
17	母語	岡真理	記憶／物語	それは、学校教育で修得された書き言葉という、母語とはまた別の言語である。
18	文字	川田順造	西の風・南の風	私たち文字文化の人間は、情報を把握したりその内容を理解するのに、何と視覚に多くを頼っているか、さらにいえば、時間の相で流れてゆくものを空間化して固定したがるか、…
19	パラダイム	池田清彦	科学とオカルト	客観というのは、事実から記述をなすときの、科学者仲間の約束ごとに支えられて成立しているものであり、この約束ごとは後にパラダイムという名で呼ばれるようになるのだが、そういうこととは無関係に、ほとんどの科学者は、記述は約束ごとではなく、事実であるゆえに客観的だと信じているらしいのだ。
20	体系	今村仁司	近代性の構造	祖先のつくった価値体系を傷つけずに保存することで共同体は維持されるし、またそうする必要が古代から中世まで連綿として続いた。

②別例文データ(第1・2・3・4章)【Excel】

本冊掲載単語を含む別例文データの一覧です。本冊には載っていない例文ですので、応用テストに最適です。入試の過去問から引用していますので、入試対策にもご使用いただけます。

番号	見出し語	大学	出題年度	作者	作品	例文
1	具体	名古屋大学	平成27年度	大久保孝治	現代社会と自由時間	「時間を守れ」というときの「時間」は目盛(指標)としての時間である。具体的には「時刻」「曜日」「日付」などのことである。
1	具体	大阪大学	平成27年度	許光俊	クラシック魔の遊戯 あるいは標題音楽の現象学	楽譜とは理念であり、理念そのものは当然ながら、それ自体として私たちの前に姿を現すことはできない。それは必ずや一現象という個別化を経て具体化する。
1	具体	早稲田大学	平成26年度	竹西寛子	『あはれ』から『もののあはれ』へ	小説で必要なのは事物の具体的な表現であって、抽象的な論評でもなければ概念的な記述でもない。なぜこの作品を書いたかという、作者の直接の言葉は不要であり、結論は、作者が提示した具体的な事物を通じて読者にゆだねればよい。
2	抽象	埼玉大学	平成28年度	岩井克人	経済学の宇宙	ひとたび法が成立すると、小さな集団の中のむき出しの力関係は、抽象的な権利と義務の関係に置き換わります。他人が私に危害を加えないのは、私の方が力が強いからではなく、私の人権を侵害しない義務を負っているからです。
2	抽象	青山学院大学	平成27年度	岡山茂	ハムレットの大学	人類は、勇気とか、忍耐とか、愛とか、死といった抽象名詞を手に入れ、そのようにして精神的な存在となりましたが、それと同時に、不在の幻惑にさらされるようにもなりました。
2	抽象	明治大学	平成26年度	外山滋比古	未知を読む	近年の映像文化の中において、おとぎ話の影が薄らぎつつある。元来は耳の言葉で語られるべき世界が視覚化して、したがって、十分に抽象に高められないでいることがすくなくない。
3	普遍	上智大学	平成26年度	磯田光一	思想としての東京	“人類、”という普遍的概念を掲げれば、人間が“愛、”と“調和、”を達成できるという思想は、少し深読みするならば、理想に到達できない人間を理想に向かって導く思想といってもいいであろう。
3	普遍	上智大学	平成27年度	遠山啓	数学は学問的に孤立する危険をもつ	数学はどのような科学であろうか。まず最初にあげるべきはその普遍性であろう。数学の命題は世界中のいかなる人間にとってもなんらの差別なく理解できる。
3	普遍	法政大学	平成28年度	外山滋比古	エディターシップ	文学史という歴史を形成するもの、不特定多数の読者の頭の中で起っている引用の結晶にほかならない。そういう引用を何度も何度も経験したものが普遍性とか古典性をもつのである。
4	特殊	立教大学	平成28年度	武満徹	ぼくの方法	音楽は、数理的な秩序の上に成り立ち、他の仕事と異なっており、特殊な《時間性》の問題が介在するから、芸術作品としての形式の問題が重要となってくる。
4	特殊	東京女子大学	平成28年度	四方田犬彦	『かわいい』論	「かわいい」は日本文化に深く根ざした特殊なものであるがゆえに珍重されるのだろうか。それとも世界中の人間が享受しうる、ある種の文明的普遍性をもっているがゆえに、彼らに受け入れられるのだろうか。
4	特殊	筑波大学	平成28年度	渡部信一	ロボット化する子どもたち	コンピュータやインターネットを用いて学ぶことは、現在のところ特殊なことと考えられている。しかし、あと数十年もたてば、eラーニングはごく日常的な学習スタイルになっているかもしれない。
5	絶対	早稲田大学	平成26年度	林香里	震災における『ケアのジャーナリズム』	震災という災禍を背負う人々にとって、「表現の自由」はどこまで現実的な権利であろうか。そうなると被災者たちの表現の自由の行使には他者の助けが絶対的に必要である。
5	絶対	青山学院大学	平成27年度	牟田和恵	戦略としての家族	産業化の萌芽する明治二〇年代、それまでの親への孝や家督を絶対視する家族観念を批判し、夫婦と子ども中心の情愛あふれる欧米を範とした「家庭(ホーム)」が称揚される。
5	絶対	青山学院大学	平成28年度	ヨコタ村上孝之	マンガは欲望する	マンガは趣味性の優先する(と見なされている)種類のテキストである。そこでは作品の性格、構造、テキストの戦略的位置などよりも、それに対する好悪が判断の基準として絶対視される。
6	相対	早稲田大学	平成26年度	青木淳	原っぱと遊園地2	現実の堅固さに窒息し、押しつぶされそうになっているなかで、「なんだ、そのすぐ裏には別の世界があるんじゃないか」と救われる瞬間、いわば現実世界が相対化される瞬間を持つこと。
6	相対	弘前大学	平成27年度	阿部公彦	詩的思考のめざめ	対象を描写するときに、見ている人の知覚を通して表現することがあります。「リンゴがある」というのではなく、「リンゴがあるのが見える」と言う。こうすると、リンゴという対象が相対化され、対象VS視点人物というコントラストが生まれます。
6	相対	東洋大学	平成28年度	佐々木毅	学ぶとはどういうことか	一定の「想定」に執着し、時にはそれに殉ずることも人間の一つの生き方であるが、それまで「学んできた」ことを相対化し、それを乗り越えて新たに「学ぶ」こと、それによって生きることまた人間の選択の中にある。

③見出し語意味選択問題(第1・2・3章)【Excel】

例文中の語の意味選択肢問題(4択)を本冊の例文と合わせて収録しています。
小テストにもお使いいただけます。

番号	見出し語・例文・選択肢	解答
1	具体 理念を具体化するべきだ。このままでは机上の空論にすぎない。 ①抽象的な事柄を実際の形にすること ②さまざまな人と話し合うこと ③周囲の人びとに伝え広めること ④具体的なものの性質を抽出すること	④
2	抽象 あなたの意見は抽象的で意味がよくわからないので、具体的な例を挙げて説明してください。 ①根拠が弱く、論理的ではないさま ②具体性に欠け、観念的なさま ③身勝手に、自己中心的なさま ④専門的で、難解な表現が用いられているさま	②
3	普遍 科学は、法則の普遍性について語ることができるのである。(加藤周一「文学の概念」) ①確かな証拠により確認されている性質 ②限られた物事に共通する性質 ③すべての物事に共通する性質 ④人類の役に立つ性質	③
4	特殊 彼女(ミロのヴィーナス)はその両腕を、自分の美しさのために、無意識的に隠してきた…このことは、僕に、特殊から普遍への巧まざる跳躍であるようにも思われる…(清岡卓行「手の変幻」) ①限られたものにしか当てはまらないこと ②すべてに広く当てはまること ③全く意味をもっていないこと ④芸術的な価値があること	①
5	絶対 彼女はクラスメイトから絶対的な信頼を得ている。 ①どのような方法によっても確認しようがないさま ②限られたある特定のものにしか当てはまらないさま ③時や状況によって変わってしまうさま ④他と比べようもない、ゆるぎない状態であるさま	④
	人びとは神を絶対化していた。 ①ある宗教を、まだ信仰していない多くの人びとに伝え広めること ②ある物事の存在や価値を、他と比較することなく信じること ③神仏をかたどって作った像を信仰の対象とすること ④科学的な観点から、その存在を否定すること	②
6	相対 人はアリよりも「大きい」が、ゾウよりも「小さい」。「大きい」や「小さい」は相対的なものである。 ①他との関係によって、価値や性質が決まるさま ②人間の自己中心的な観点によって決まるさま ③人間以外の動物にとっては価値のないさま ④他との比較によっても変わらないさま	①
	異文化を知ることで、自文化を相対化することができる。 ①ある物事を絶対的なものとしてとらえること ②ある物事を肯定的にとらえること ③ある物事を否定的にとらえること ④ある物事を他と比較してとらえること	④

④コピー用確認テスト【PDF／text】

冊子でお渡ししているコピー用テストのデータです。基本・標準・応用の3レベル＋長文問題を収録しています。基本・標準・応用それぞれの問題を全24回、長文問題は全10回分用意していますので、レベルに応じてテストを使い分けられます。

基本

●「読解を深める現代文単語 評論・小説 改訂版 準拠 (P.8～P.17)」

1 現代文単語 確認テスト

クラス
番 号
氏 名

/50点

① 次の傍線部の意味を、それぞれ後から選べ。(各10点)

A あなたの意見は抽象的で意味がよくわからないので、具体的な例を挙げて説明してください。

- ① 根拠が弱く、論理的ではないさま
- ② 具体性に欠け、観念的なさま
- ③ 身勝手で、自己中心的なさま
- ④ 専門的で、難解な表現が用いられているさま

B 科学は、法則の普遍性について語ることができるのである。

(加藤周一「文学の概念」)

- ① 確かな証拠により確認されている性質
- ② 限られた物事に共通する性質
- ③ すべての物事に共通する性質
- ④ 人類の役に立つ性質

C 人間はアリよりも「大きい」が、ゾウよりも「小さい」。「大きい」や「小さい」は相対的なものである。

- ① 他との関係によって、価値や性質が決まるさま
- ② 人間の自己中心的な観点によって決まるさま
- ③ 人間以外の動物にとっては価値のないさま
- ④ 他との比較によっても変わらないさま

D できるだけ主観を排し、客観的な意見を述べてほしい。

- ① 自分だけの個人的な見方によるさま
- ② 個人的な見方にとられず、物事を冷静に見るさま
- ③ 自分自身の考えではなく、他人の考えに寄り添うさま
- ④ 自己の内からわき上がる素直な感覚でとらえるさま

E 声には、理性を超えて、人間の生理の最も奥深い層にまで、じかに届くような力がある。
(川田順造「コトバ・言葉・ことば」)

- ① 特定の個人にだけ当てはまる性質
- ② 音の善し悪しを判断する聴覚の働き
- ③ 刺激に応じて生じる感覚や感情の動き
- ④ 筋道立てて考え、判断する能力

①

E	D	C	B	A

⑤解説定着ワーク(第1章解説、第2章「参考」)【PDF】

本冊掲載単語に関する解説の定着をはかるための空欄補充形式のワークです。
本冊掲載の図や表もそのまま載せていますので、本冊と併せた効果的な学習が可能です。

●「読解を深める 現代文単語〈評論・小説〉改訂版 準拠 (p.8～p.9)

1

現代文単語 解説定着ワーク

クラス

番号

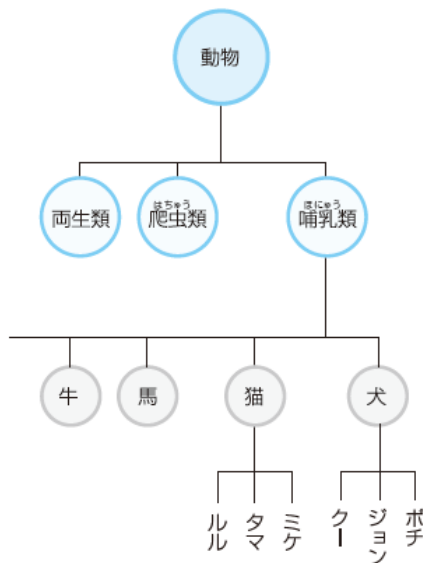
氏名

/50点

次の文章の空欄に入る言葉を、後の語群から選べ。なお、語群にある語は複数回用いてよい。(各5点)

具体とは、「体(＝姿・形)」を「具」えていること。たとえば、目の前でミャーと鳴く「ルル」は①**具体** 的で現実的な存在だ。そんなルルを「猫」と呼ぶとき、かけがえのない存在をつまみ、抽象とは、個々の③**具体** 的なものをもつ多様な性質の一つに注目し、それを「抽」き出してそのもの④**全体** を指し示し、同じ性質をもつ他のものと結びつけ、同類としてまとめることである。

以上のような基本的な意味をおさえた上で、左の図を見てほしい。上に行くほど⑤**抽象** 化されており、下に行くほど⑥**具体** 化されている。たとえば「猫」は、「ミケ」や「タマ」のレベルから見れば⑦**抽象** 的であるが、「哺乳類」や「動物」といったレベルから見れば⑧**具体** 的である。このように、何が具体的で何が抽象的なのかということは、状況によって変わらうる⑨**相対** 的なものだ。つまり、実際に「具体」と「抽象」が何を意味するのかは、⑩**文脈** に応じて柔軟に読み取る必要もあるのである。



語群

具体・抽象・相対・文脈・全体

⑥小説語表現ワーク(第4章)【PDF】

本冊掲載単語を使った、20～30字の短文を作るワークです。
表現力や記述力の基礎を養うことができます。

●「読解を深める 現代文単語 評論・小説 改訂版」 準拠 (P.228～P.231)

1

現代文単語 小説語表現ワーク

クラス

番号

氏名

● 次の言葉を使って15字以上20字以内の文を作りなさい。

① いそしむ

後	午
は	前
勉	は
学	ス
に	ポ
い	ー
そ	ツ
し	に
む	、
。	午

② かまける

を	遊
忘	び
れ	に
て	か
い	ま
た	け
。	て
	、
	宿
	題

③ しつらえる

た	舞
巨	台
大	の
な	正
階	面
段	に
。	し
	つ
	ら
	え

④ 迎合

は	な
迎	に
合	が
し	あ
な	っ
い	て
。	も
	権
	力
	に

● 次の言葉を使って25字以上30字以内の文を作りなさい。

⑤ 機先を制する

勝	決	機
っ	め	先
た	た	を
要	こ	制
因	と	し
で	が	て
あ	、	ゴ
る	試	ー
。	合	ル
	に	を

⑦大学入試過去問題【Word/text】

第2章で取り上げた、評論で頻出する10テーマのそれぞれについて、関連する大学入試問題の本文を収録しました。本冊に掲載された重要語を実際の入試に出題された文章で確認することができます。入試を見据えた発展的な学習にお役立てください。

○言語とコミュニケーション
上智大学・平成二十四年出題（母語、概念、分節、記号、文字）

田中克彦『言語学とは何か』

私たち人間は、どのようにして自分のことば（母語）をおぼえたのか、あまり記憶がない。日常生活からかけ離れたむづかしい言葉や、最近どんどん現われて来る新語などは、たとえば、はじめて聞いたのが誰からだったのか、どの新聞に出ていたかと、最初の出会いをおぼえているが、ここではそれぞれの言語に悠久の過去からそなわっていて、まるで水や空気のように当然と思われている言葉について考えてみよう。こうしたことばは子どもの時から、いつの間にかおぼえて知っているの、テ、アシ、メ、クチ、ソラ、アメ……などのことばが、なぜそのようになっているのかと問うたりはしないし、どんなに批判精神の強い革命家でも、我々がアシと呼んでいるものを指すのにアシというオトをあてはめるのは不合理だから取り換えようなどとは言わない。

今は単語について述べたが、文法についても同じようなことが言える。たとえば、「ラレ」がなぜ受身の意味を表わさなければならぬのか。皆が皆こういう疑問を出しはじめたら、世の中の歯車はまわって行かない。だから、ことばのことをこせこせとあげつらう人は、少し頭が変か、世の中の和を乱す困った人だということになる。言語が集団を決める最も強力なめじるしになるわけは、このことからよくわかる。ことばがそのようになっていることに異議を申し立てる人はまずいないからだ。

そうであるのに、日本語は美しいことばだなどという。私たちはソラとかアオイとかのオトを、熟慮の上で、美しいからと言って選んだのではない。まだもの心つかぬうちに、無理やり、社会の暴力によっておぼえさせられたにすぎない。暴力というのは決して誇張ではない。選択の余地がなく、それを受け入れないと生存もむづかしいからだ。こういう個人がただただ受け入れるしかない社会のシステムを、ソシユールは「社会的事実」と呼び、言語は社会的事実の中でも最も強力な圧力を及ぼすものだと言ったのである。社会的事実一つまり、その社会を成り立たせている個々人の意志をこえて、その上に君臨するシステムである。すでに述べたようにソシユールはこの語を同時代のフランスの社会学者、エミール・デュルケムから借りてきたことはよく知られている。

ことばはこうして、誕生の瞬間から人間をしぼりつける。その子が長じて、自分は日本語をすてて、英語をしゃべる人間になりたいと思っても、もうことばの取り換えはできない。どんなことばの才に恵まれている人間でも、十二歳をすぎると、母語を獲得したようなくらいには他の言語を身につけることはできないのである。

こうして一度身につけたことばは、批判せず、ただ美しいと言って讃美することが世間にうまく受け入れられる方法である。しかし、このような、さめた言い方は、実態に反する。アシがアシでメがメであることは、誰にとっても、必然で自明のことであるだけでなく、絶対に正しいのである。

しかしよく考えてみれば、メがメであるのは必然の関係、つまり、何かわけがあつてそうなのではない。メという単語は、メというモノ（もつと厳密に言う）、メそのものではなく、それから得られた概念と、メというオトとが結びついてできている。そして、この指されるモノと、それを指し示すオトとの間には、必然の関係はなく、言語ごとに随意にきまつているということを、ソシユールは「記号の恣意性」と呼んだのである。このような「恣意性」の原理は、個々の記号のみならず、「分節」をはじめ、言語のすべての領域に及んでいるので、この原理の重要性ははかり知れないのである。

現代世界では、多くの人が何か一つの外国語にふれていて、言語ごとに単語がちがうということを経験から知っているから、この「記号の恣意性」は説明されるとすぐにわかるが、それが、言語というものの全体にどのようなかわりを持っているかについては、もう少し深く考えてみなければならない。

古代の人だけでなく現代人もまた、こうした説明を受ければわかるはずだが、まだまだ、モノとことば（オト）とはイコールで、ことばを出せばモノが呼び出されるとい、コトダマ（言葉）的な感覚をもっている。人は忘れられない人を心の中に呼び出そうとして、その名（オト）をひそかに口にするのもそうした感覚の現われであるが、名は決して、その人の本質を表わしているのではなく、もとをたせば憎むべきかもしれないその親が与えたものである。

※ 田中克彦『言語学とは何か』（第三章 言語の相対性と普遍性 一 記述言語学とドイツ意味論学派）の一節。